

鉦山保安に係る当部の取組

令和8年6月12日

九州産業保安監督部

鉦山保安課

1. 監督指導の基本的な考え

令和8年度は、第14次鉱業労働災害防止計画（計画期間：令和5年度から令和9年度までの5年間）の4年目であり、当部は本計画の趣旨を踏まえ、次の基本的な考えのもと、監督指導に取り組む。

<基本的な考え>

- ① 効果的・効率的な立入検査の実施による鉱山保安法令の遵守徹底
- ② 鉱山保安マネジメントシステムの活動の支援による保安レベルの向上
- ③ 災害等保安情報の提供及び九州地方鉱山保安表彰等を通じた保安意識の高揚
- ④ 鉱業関係団体との連携による中小規模鉱山における保安レベルの底上げ

2. 災害撲滅のための目標

鉱山災害の撲滅を最終目標とするが、令和8年（暦年）の当部の災害目標は次のとおりとする。

<第14次鉱業労働災害防止計画の目標> 令和5年度～令和9年度

（全国） ◆計画期間5カ年目標◆

- 指標1. 毎年の死亡者 0名
- 指標2. 罹災者（全体）度数率 0.7以下
- 指標3. 罹災者（重傷）度数率 0.5以下

（九州） ◆計画期間5カ年目標◆

- 指標1. 毎年の死亡者 0名 /
- 指標2. 罹災者（全体）5名以下 /
- 指標3. 罹災者（重傷）4名以下 /

◆令和8年の目標◆

- 死亡者 0名
- 罹災者（全体）1名 以下
- 罹災者（重傷）1名 以下

3. 立入検査の実施

計画的に次の立入検査を行うとともに、災害や地震等の自然災害発生時は、迅速かつ的確に情報収集を行い、特別検査等により根本的な原因究明及び再発防止を図る。

■ 保安検査

- 稼行鉱山を対象に、自主保安体制や保安規程及び鉱業上使用する工作物等の技術基準の遵守状況を確認する。
- 検査を計画的に実施し、鉱山保安法令の遵守徹底を図る。

検査重点項目（令和8年度）
運搬装置による災害防止（火災防止含む）
（a）車両系鉱山機械又は自動車
（b）ベルトコンベア

■ 鉱害等検査、その他検査

- 坑廃水の採水・分析、騒音・振動の測定、作業環境の粉じん濃度測定等を実施し、各基準の適合状況を確認する。
- 必要に応じて、その他検査を実施し、施設の保守管理状況等を確認する。

4. 鉦山保安マネジメントシステム活動への支援

鉦山保安マネジメントシステムの活動について、次のとおり助言、支援を行い、保安水準の向上を図る。

■ リスクアセスメント（現況調査）への支援

鉦山のリスクアセスメントの充実を目指す

- 施業案変更時等における現況調査の実施状況を、保安検査等において確認する。
- リスクアセスメントの理解度向上のため、鉦山の状況に応じた助言を行う。

■ マネジメントシステム活動への支援

鉦山保安マネジメントシステムの自己評価結果を踏まえ、鉦山の理解度向上を目指し、地区保安対策協議会やメールマガジン、保安検査等を通じて助言等を行い、継続的な保安水準の向上を図る。

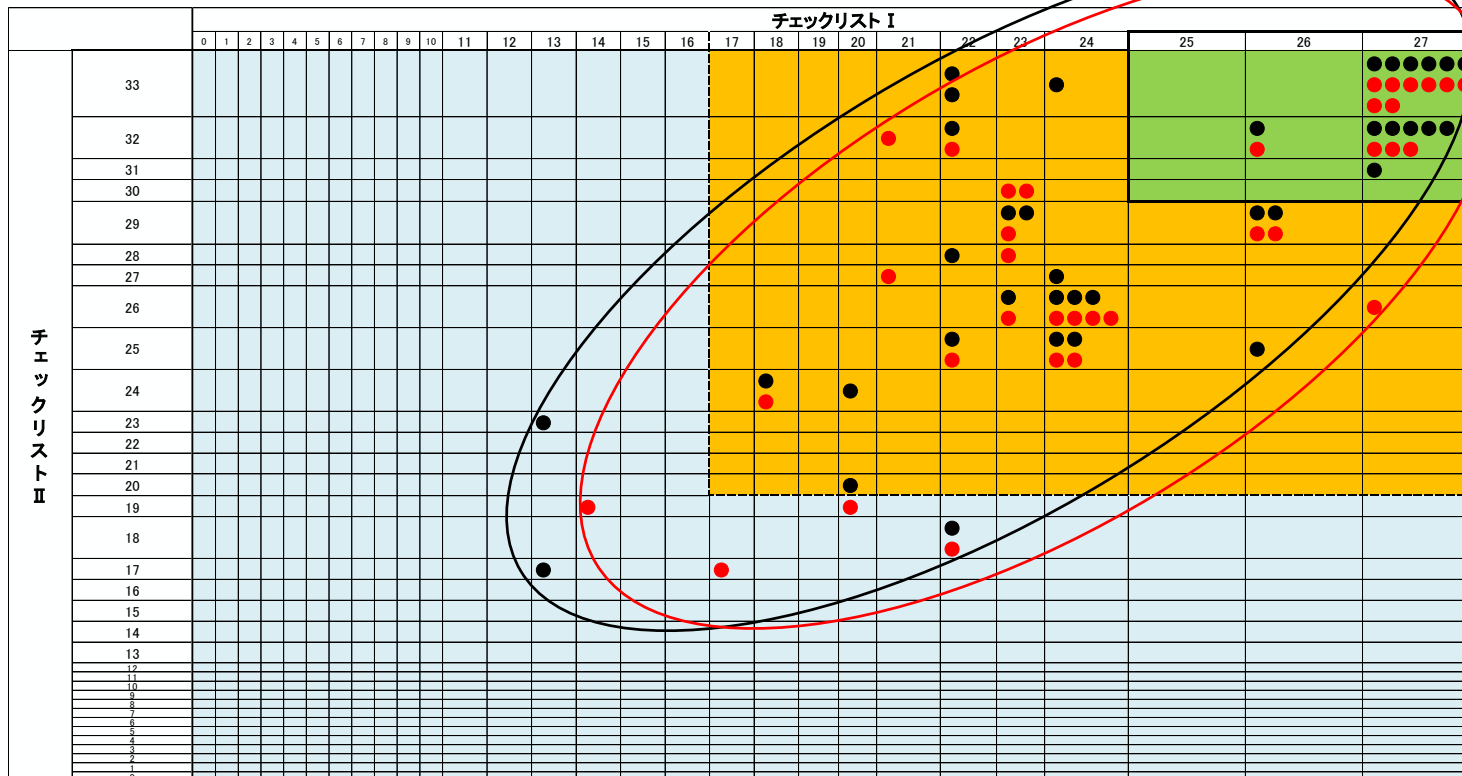
■ マネジメントシステムの周知

判定チェック項目や手引書及びガイドブックについて、前年度一部見直しが行われたため、鉦山への周知を行う。

4. 鉱山保安マネジメントシステム活動への支援

- ▶ 当部では、検査時等の機会を通じ、鉱山保安マネジメントシステムの推進を図ってきたところ。
- ▶ 各鉱山の前年度及び今年度のスコアを比較したところ、合計スコアについては、10鉱山が上昇、5鉱山が低下。マネジメントシステム（MS）区分については、10鉱山でスコアが上昇。
- ▶ 傾向として、当部から指導を受けた鉱山において、評価方法の理解が進んだことによりスコアが見直され、結果として低下した事例や、保安統括者の交代に伴いスコアが上昇した事例が確認された。

令和6年度・令和7年度鉱山分布図



MS導入 レベル	令和7年度●		令和6年度●	
	鉱山数	割合%	鉱山数	割合%
I	12	33.3%	13	36.1%
II	20	55.6%	20	55.6%
III	4	11.1%	3	8.3%
計	36		36	

	RA (チェックリスト I)	MS (チェックリスト II)	合計
スコア上昇 (最大値)	5鉱山 (4pt)	10鉱山 (2pt)	10鉱山 (5pt)
スコア低下 (最小値)	2鉱山 (-3pt)	4鉱山 (-6pt)	5鉱山 (-2pt)

5. その他

■ 広報

- 令和8年度の当部の取組の概要、保安統括者会議（ハイブリッド形式）、鉱山保安表彰、全国鉱山保安週間及び地方鉱山保安協議会等について、ホームページ、メールマガジン、SNS、プレス発表により広報を行う。
- 災害月報の電子申請のほか保安ネットの活用推進について情報提供を行う。
- 災害等情報の水平展開を実施するとともに、鉱山への調査、アンケート等を行い、必要に応じて情報提供を行う。

■ 関係団体と連絡を密にし、次の取組を行う

- 九州地方鉱山保安表彰。
- 全国鉱山保安週間（7月1日～7日）における保安ポスターの鉱山及び関係団体への配布、保安標語表彰及び保安講話の実施。
- 関係団体及び地区保安対策協議会に対する保安に関する情報の提供及び地域単位での情報交換の促進による中小規模鉱山の保安レベルの向上。

5. (1) 令和7年度 全国鉱山保安表彰

- 令和7年10月7日、全国鉱山保安表彰受賞者（保安従事者22名）を表彰。
- このうち、九州からは「保安従事者の部」において4名が受賞。

九州管内からの受賞

(1) 保安従事者の部（4名）（順不同・敬称略）

- ① 川野 修平（戸高鉱山：大分県 石灰石）
- ② 徳永 宏朗（香春鉱山：福岡県 石灰石）
- ③ 新原 喜美（菱刈鉱山：鹿児島県 金・銀）
- ④ 山下 義美（船尾鉱山：福岡県 石灰石）



戸高鉱山 川野ご夫妻



香春鉱山 徳永 宏朗 様



菱刈鉱山 新原ご夫妻



船尾鉱山 山下ご夫妻

受賞者写真

5. (2) 令和7年度 九州地方鉱山保安表彰

令和7年6月27日、

九州地方鉱山保安表彰（1 鉱山、保安従事者8名、保安功労者1名）を実施。

(1) 鉱山の部（1 鉱山）

四浦珪石鉱山（大分県 非金属）

(2) 保安従事者の部（8名）（順不同・敬称略）

谷口 義晴（船尾鉱山：福岡県 石灰石）

吉田 一寿（船尾鉱山：福岡県 石灰石）

田中 茂輝（東谷鉱山：福岡県 石灰石）

山本 博之（香春鉱山：福岡県 石灰石）

瀬川 守（新津久見鉱山：大分県 石灰石）

矢野 充斎（戸高鉱山：大分県 石灰石）

平林 太助（戸高鉱山：大分県 石灰石）

野本 光（菱刈鉱山：鹿児島県 金属）

(3) 保安功労者の部（1名）

島田 英樹（九州大学大学院工学研究院）



表彰式

5. (3) 令和7年度 全国鉱山保安週間 実施概要

- ▶ 全国鉱山保安週間は、「国民安全の日（7月1日）」に併せ、鉱山における自主保安活動を推進し、保安意識の高揚を図るとともに、広く国民の間に鉱山保安に関する認識及び理解を深め、鉱山災害及び鉱害の防止に資することを目的に、昭和25年度から毎年実施。
- ▶ 毎年、経済産業省 本省 鉱山・火薬類監理官付で策定する「実施事項」(どういう点を注意・啓発すべきか等まとめた項目集)を各監督部を通じて、各鉱山事業者へ送付し、それに基づき事業所は周知啓発のため、講演会やポスター配布・展示、標語の選考・掲示等を実施。

<令和7年度当部実施事項>

1. 監督部長からのメッセージをホームページ・メルマガで配信
2. 保安週間実施要綱及びポスターを各鉱山に配布
3. 鉱山保安週間に合同庁舎本館1階ロビーにて保安標語の短冊や保安ポスター等の掲示
4. 保安標語の募集、審査、表彰、入選標語の短冊を印刷・配布
5. 保安標語の表彰にあわせて保安講話を実施
表彰鉱山（3鉱山）：東谷鉱山、新津久見鉱山、菱刈鉱山（順不同）



表彰時の保安講話



合庁ロビーでの保安標語の掲示



保安ポスター